

高次脳機能障害 ^{123}I -IMZ SPECT を 用いた分子神経画像診断

2012/11/2 (金) 17:30～18:30

17:00-18:00 から時間変更になりました。

大阪大学医学部 講義棟 C 講堂
国立循環器病研究センター 脳卒中統合イメージングセンター
部長 中川原 譲二 先生

脳損傷による記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害は、『高次脳機能障害（行政的）』として精神障害者保健福祉手帳の対象となりうるが、形態的画像診断で器質的脳損傷が明確でない『高次脳機能障害』の認定が社会的に問題となる。そこで、現在 ^{123}I -IMZ SPECT 統計画像を用いて、器質的脳損傷が明確でない軽症頭部外傷例やもやもや病の脳皮質損傷領域の画像化が試みられている。 ^{123}I -IMZ SPECT の解析には 3D-SSP を用いた統計画像解析が用いられ、Z-score>2 の低下を示すピクセルのクラスター（集合領域）が脳皮質損傷領域と定義される。初期の探索試験では、健常群との群間比較において両側前頭葉内側に脳皮質損傷領域が確認され、各脳回レベルでの異常を検出する SEE (level3) 解析において、両側内側前頭回や前方帯状回に有意な脳皮質損傷領域が確認されている。今後、『高次脳機能障害』の分子神経画像診断の標準化を確立するためには、SPECT 機種の違いを超えた画像再構成手法の確立と多施設共同臨床研究が必要である。

略歴

1978 年 札幌医科大学医学部卒業
1981 年 国立循環器病センター 脳血管外科レジデント
1985 年 (財)大阪脳神経外科病院 医局長
1989 年 中村記念病院 脳神経外科医長
1993 年 Bispebjerg Hospital (ビスペビア病院, コペンハーゲン) 客員研究員
1994 年 中村記念病院 脳神経外科部長
2000 年 北海道大学大学院医学研究科病態情報学核医学分野非常勤講師
2006 年 中村記念病院 診療本部長・脳卒中センター長
診療情報管理室 室長・治験管理室 室長
2012 年 国立循環器病研究センター脳卒中統合イメージングセンター部長

主 催:大阪大学大学院医学系研究科附属 PET 分子イメージングセンター
連絡先:06-6879-3764

info@pet.med.osaka-u.ac.jp

http://www.pet.med.osaka-u.ac.jp